虫についての被害は年々減少してきています。

Insect damage is decreasing year by year.

しかし、その中で松くい虫とカシノナガキクイ虫の被害は年々増加してきています。

But insect damages of Matsukuimushi and Kashinonagakikuimushi are increasing year by year.

松くい虫とは体長1mmも満たないほど小さい虫です。

Matsukuimushi is about 1 millimeter.

この虫は成長するとマツノマダラカミキリになります。

These insects grow up to be Matsunonagakikuimushi.

木の中に卵を産み木を食べて成長するため、木は大きな被害を受けています。

These insects lay an egg in a tree and eat a tree to grow up, so trees receive big damage.

これらの被害は北海道以外の県の海岸の松の木でおこっています。

These damages occur in prefecture except Hokkaido.

カシノナガキクイ虫とは、体長5mmくらいの小さな虫です。

Kashinonagakikuimushi is about 5 millimeters.

この虫は、幼虫から成虫になった後ナラ菌を木に感染させ、菌が増殖することで木を枯らしてしまいます。

This insect becomes the damage from larva and trees are infected by the Nara bacteria, increase bacteria, so trees dying.

カシノナガキクイ虫は主にブナ科の多くの種類の木に被害を与えます。

Kashinonagakikuimushi give mainly beech family op various kind of trees.

東アジア諸国でも松枯れ問題があります。

Those damages occur in East Asia.

ヨーロッパでは松木材の輸入を禁止していました。

In Europe, prohibit wood imports.





[](http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/siryou/img/am3.jpg)

